



令和7年度 コミュニティ・スクール（CS）活動報告

第3回学校運営協議会を行いました

11月21日（金）に学校運営協議会を開催しました。今回は、前回に続いて、「総合的な学習の時間の充実に向けて」と「休日の部活動の地域展開」について熟議いたしました。また、いじめを含めた生徒対応の現状と今後の課題についても熟議いたしました。学校運営協議会委員の方々から多くのご意見をいただきました。今後の活動がより充実したものとなるよう、いただいた意見を生かしていきたいと思います。

○ 総合的な学習の時間の充実に向けて

総合的な学習の時間では、生徒一人一人が個別のテーマを設定して、「自己解決」に向けて探究を進めていることが、学校から説明されました。前回の学校運営協議会でも、生徒と地域との関わりについてご意見をいただきましたが、今回は個別になった生徒の課題に地域がどう関わられるのかという視点からのご意見をいただきました。

生徒たちの「学びのニーズ」に寄り添うための地域のサポート体制は、どのように整えていくことができるのか、ご意見をお聞かせください。（学校）



高橋会長より挨拶



校長より挨拶

生徒の「学びのニーズ」に対応するための地域のサポート体制を整えた時、運営上の問題点として、授業に合わせて、平日に学校にアドバイザーの皆さんが集まるのが難しいことが挙げられる。（委員）

12月10日の「探究学習発表会」を見てみると、生徒の求めている内容や課題、進捗などが分からない。個人としての課題追究が順調に進んでいるかどうかについても知りたい。（委員）

発表が多岐にわたるので、その情報を地域に発信していかないと、今までの人数では対応しきれないと思う。「三ヶ日のために」と考えている人はたくさんいるので、そういう方々に伝えることが大切である。限定された時間に三ヶ日中に来ないと学習内容が伝わらないということを避けるためにも、発信は必要。生徒が「発信する・受け取る」の両方を経験すること自体も学習であると思う。（委員）

静岡県には、一般社団法人の「シヅクリ」という組織がある。民間企業と学生をつないで地域の活性化を目指している団体で、総合的な学習のサポートもしているようだ。その団体の利用も可能かもしれない。中学生の興味・関心に対応するようなシヅクリと同様なシステムがあるとよい。（委員）





個々の発表になったことは町民に伝わっていないので、発信するのはよいと思う。地域で活動する自分を想像して課題を追究していくことは、将来、地元に戻ってくるきっかけになるかもしれない。(委員)



課題追究の方法が定まっていない子供たちが手探りで進めていくよりも、シズクリのような団体の支援を受け、追究の方法の選択肢を示されて進めていくのもよい。(委員)

総合的な学習の話を家庭ですることはあまりないが、「地産地消」について調べていたようだ。友達の学習の進め方を参考にして、学習を深めていけたらよいと思う。(委員)

いじめを含めた生徒対応の現状と今後の課題

- 三ヶ日青年の家を利用する小中学校の子供たちの様子を見ると、話を聞く態度一つとっても、教員の皆さんが指導を工夫されていることが垣間見える。また、保護者対応にかなり配慮していることも言動からうかがえる。(委員)
 - 地域の行事などで出会った時の、生徒との「挨拶」は交流の第一歩であり、基本だと思う。問題行動を防ぐためにも、そこはとても大切なことである。(委員)
 - 地域のお祭り等も減ってきて、学校以外の行事が少なくなっている。地域のイベントへの参加を学校からも呼び掛けてほしい。(委員)
 - 「地域防災訓練」には、中学生の参加をお願いしてある。救命救急訓練などを一緒に行うのもよいと思う。災害対応のための組織は作ってはいるが、実際に災害が起こったときに、その組織がうまく機能するかどうかは分からない。実際には近所の人たちとの「共助」が重要になってくると思われる。(委員)
- ◇承認欲求が満たされない生徒たちへのサポートとしても、親や教員以外の大人たちとの関わりが、大切になってくる。今後も関わりをお願いしたい。(教員)



〇休日の部活動の地域展開に向けて

- 部活動のとらえ方は、我々の時代とは隔世の感がある。それでも、部活動は心身を鍛える場であってほしい。(委員)
 - 「はまクル」では、クラブからの申請を終えて登録が済んだら、生徒がクラブを選択して申し込むという形になるのか。(委員)
- ◇「はまクル」には、おそらくポータルサイトができると思われる。在籍中学校に希望する部活動がない場合は使用することになる。(教員)
- 浜松市は「すべての中学生が安心して、スポーツや文化芸術活動を続けていける環境をめざす」としているが、そのためのクラブはどのようにして作るかは地域任せであり、市からは何のアドバイスも補助もない。遠方のクラブへの移動がままならないという地域への対応もない。組織（クラブ）が立ち上げられなかった場合どうするのか、分からないままである。(委員)
 - 指導者の身分保障はどうなっているのか。(委員)
- ◇給与や休暇は保証される。(教員)
- 生徒数が多く、クラブ会場への移動に距離的に問題がない市の中心地域では、さして問題になっていないようだ。周辺地域の声はなかなか届かない。(委員)





部活動の地域移行についての説明

(委員)